

**緊急課題解決7 三重の食を拓く「みえフードイノベーション」
～もうかる農林水産業の展開プロジェクト（主担当部局：農林水産部）**

プロジェクトの目標

三重の食を拓く「みえフードイノベーション」の創出をとおして、本県の「食」の魅力等を生かした新商品が活発に生まれる環境整備や発信力強化、それを支える農・林・水のものづくり風土の醸成などに取り組むことによって、消費者が求める県産品が増加しています。

プロジェクトの数値目標

目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
「みえフードイノベーション」から生まれる新商品等の数（累計）	/	50件	112件		162件	200件
	-	62件			/	/

目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方

目標項目の説明	「みえフードイノベーション」に係る活動等から創出される新たな商品等の数
26年度目標値の考え方	平成25年度目標値に単年度目標の50件を加え、162件としました。

実践取組の目標

実践取組	実践取組の目標	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
1 「発信力・営業力の強化に向けた課題」を解決するために	大都市圏等への販路拡大をめざす事業者の売上げ伸び率	/	101	105		108	110
		100	104			/	/
2 「商品開発力の強化に向けた課題」を解決するために	「みえフードイノベーション」による連携プロジェクト創出数（累計）	/	10件	（達成済）		（達成済）	25件
			29件			/	/
3 「創造力の強化に向けた課題」を解決するために	地域活性化プラン等の策定・実践への支援	/	110 プラン	170 プラン		230 プラン	290 プラン
		50 プラン	126 プラン			/	/

*達成済：目標値が累計値の場合において、27年度目標値をすでに達成していることを示しています。

進捗状況（現状と課題）

【実践取組1 「発信力・営業力の強化に向けた課題」を解決するために】

- ・「三重テラス」については、さまざまな機会を通じたトップセールスをはじめ、大手小売業者との連携によるフェアの開催や日本橋イベント等を活用したPRなどに取り組み、三重の魅力の効果的な情報発信や「三重テラス」の認知につなげるとともに、市町や商工団体等との連携による「三重テラス」2階を活用した市町主催イベント等の企画づくりや、日本橋地域の企業、団体、商業施設、個人などとのネットワークづくりを進めました。今後は、「三重テラス」という常設の拠点という強みを生かし、さらなる県産品の販路拡大につなげていく必要があります。
- ・関西圏での営業活動の展開については、関西圏認知度意向調査の調査結果等によると、「伊勢エビ」や「松阪牛」などといった、三重県は食に関するイメージが高いことや、目的別の訪問地として「宿でのんびりすごす」、「自然・景観鑑賞」とともに、「地元の美味しいものを食べる」というニーズが三重県は高いことが示されていることから、今後は、特に、三重の「食」の魅力を販路開拓につなげていくため、県内市町をはじめ関係者等とのネットワークづくりの強化、さらに、兵庫県までを見据えた関西圏でのネットワークづくりに取り組みながら、関西事務所での営業活動を展開していく必要があります。
- ・10月から実施している神宮式年遷宮を活かした「平成おかげ参りプロジェクト」については、本年度開催する14百貨店と準備を進めました。この取組を通じて、県産品の販路拡大と県内への誘客が図られるよう効果的な情報発信を進めていくことが必要です。
- ・台湾での「三重県物産展」については、昨年度の実績も踏まえて事業者を選定し、県内10事業者、29商品が出品され8月に実施しました。また、本年度初めてタイで実施する「三重県物産展」の準備を進めました。今後は物産展開催にとどまらず、さらなる販路開拓に向け現地バイヤーとの商談会や意見交換の場づくりを進めていくことに加え、物産展の実績や県内事業者に対するニーズ把握調査結果を踏まえた県全体での農林水産物等県産品等の輸出方針の検討と支援体制の整備が必要です。
- ・住宅や商業施設に「あかね材」を利用する「パートナー企業」18社を選定し、PR活動を支援しています。また、県産材の利用拡大に繋がる「木材利用ポイント」制度について、県政だよりやラジオを活用してPRを行いました。今後も、「あかね材」のさらなる認知度向上が必要です。

【実践取組2 「商品開発力の強化に向けた課題」を解決するために】

- ・「みえフードイノベーション」では、ネットワーク会員数は約260者となり、昨年立ち上げたプロジェクトを引き続き支援するとともに、新たに7つのプロジェクトを立ち上げました。販売力のある事業者との連携や、県内資源の活用検討会などを定期的で開催することで、売れる商品づくりを促進する必要があります。また、企業等と連携できる意欲ある生産者の6次産業化を支援する必要があります。
- ・県研究所では、産学官の研究コンソーシアムや「みえフードイノベーション・ネットワーク」等との連携による地域資源を活用した商品開発や技術移転のほか、研究成果の商品化に向け、企業等による早期活用が期待される研究成果の選定を進めました。今後も、ニーズに対応した商品開発と円滑な技術移転に向け、食品産業事業者や生産者等との連携を強化していくことが必要です。
- ・工業研究所と農業研究所による研究プロジェクト「ニホンナシの新しいドライフルーツ作製と省力栽培技術の確立」に取り組んでいます。今後、県内企業と共に開発技術を応用した商品化の実現に取り組みます。
- ・餌に海藻、柑橘、茶葉を入れて育てた「伊勢まだい」と天然マグロを船上で急速冷凍し、旨味を閉じ込めた「もちもちまぐろ」については、県内外の量販店等に対し、積極的な販促活動を行いました。味の良い「一番摘み黒ノリ」や「肉厚あさり」等については、冬場の本格生産に向けた準備を進めました。これらの安定供給体制の確立と販売展開へのPRが必要です。

- ・戦略的ブランド化推進事業に関しては、三重ブランド認定志向を持つ事業者に対し、実施計画に沿った支援を進めています。「みえセレクト」については、新たに 18 件を選定し、総数 40 件となりました。引き続き、みえセレクト選定品の増加を図る必要があります。また、事業者の商品力・営業力向上を図るフードコミュニケーションプロジェクト集中研修では、受講者 12 者の研修を進めており、今後も研修の実施を通じて事業者の商品力・営業力向上を図ることが必要です。
- ・農業大学校では、農業者のマーケティングスキル向上に向けた研修プログラム 4 講座を企画し、9 月下旬から順次開講しています。講座の適切な実施とともに、研修修了者に対する研修効果を高めるための助言や情報提供など継続的な支援、受講希望者のニーズに対応した研修内容への見直し等が必要です。

【実践取組 3 「創造力の強化に向けた課題」を解決するために】

- ・地域活性化プランについては、新たに 22 箇所のプラン策定を予定しています。また、これまでに策定された 135 プラン（前年度末 113、本年度上半期 22）について、ビジネス指向の取組に専門家を派遣し、プランの実践取組を支援しています。策定地域のさらなる拡大や、プランの実践により新たに創出された産物や商品の改良、販路開拓を進めていく必要があります。
- ・地域水産業・漁村振興計画については、新たな 10 地区の計画策定とこれまで策定された計画の実践やブラッシュアップを支援しました。今後は計画策定候補地区の掘り起こしや、水産物の商品開発、販路拡大等に取り組んでいる地区の情報を各地区で共有して計画実践を促すことが必要です。
- ・交流アドバイザー派遣による活動支援などにより、「いなかビジネス」に取り組む団体は 132 団体（平成 24 年度末 125 団体）に、三重の里ファン倶楽部会員数は 6,200 名（平成 24 年度末 5,800 名）に増加しました。また、集客力向上に向けた、効果的な情報発信やサービス改善などの誘客方策を検討するため、三重の里ファン倶楽部会員を対象とした利用者アンケート調査を実施しました。「いなかビジネス」のさらなる取組の拡大に向け、引き続き活動支援を実施するとともに、企業等との連携による情報発信や PR イベントの開催などにより、集客力の向上に向けた取組を進める必要があります。

平成 26 年度の取組方向

【実践取組 1 「発信力・営業力の強化に向けた課題」を解決するために】

雇用経済部

- ・「三重テラス」において、県内事業者の販路拡大を進めていくため、関係部局の連携や市町・商工団体等との連携をさらに強化し、県・市町・商工団体などが一体となって、新たな商品の発掘、商品のブラッシュアップ、新商品の開発に向けた新たな仕組みづくりを構築するとともに、供給体制づくりや多品種少量の需要などに対応していくため、三重の特徴ある商品を供給する仕組みの構築を図っていきます。
- ・「関西営業戦略（仮称）」をもとに、市町、関係団体との連携を一層進め、関西圏認知度意向調査等で明らかになった三重県ゆかりの飲食店をはじめ、スーパーマーケット、商業施設等に営業活動を展開していく中で、加工食品や食材等の売り込みを強化していきます。さらに、応援団、応援企業、応援店舗への登録や、兵庫県や京都府におけるネットワークづくりを進めていきます。

農林水産部

- ・「平成おかげ参りプロジェクト」については、県産品の販路拡大と県内への誘客につながるよう、神宮式年遷宮を活かした取組として引き続き実施するとともに、最終イベントとして伊勢で物産展を開催します。
- ・台湾、タイでの三重県物産展の成果や課題を踏まえ、農林水産物等県産品の輸出支援体制の構築を図るとともに、現地バイヤーとの商談や意見交換の場づくりの創出等を行い、東アジア、アセアンを中心に県産品の輸出拡大を図っていきます。
- ・「あかね材」のさらなる認知度向上を図るため、住宅や商業施設に「あかね材」を利用する「パートナー企業」の PR 活動について、ショッピングセンター等の商業施設に重点を置いて支援します。

【実践取組 2 「商品開発力の強化に向けた課題」を解決するために】

雇用経済部

- ・「みえ食発地域イノベーション創造拠点」の活動を推進し、研究プロジェクトのコーディネーター等に継続して取り組み、工業研究所の設備等を活用しながら、企業の課題解決につなげます。

農林水産部

- ・みえフードイノベーション・ネットワーク会員の拡大を引き続き図るとともに、ネットワークを通じた新たな商品開発プロジェクトの創出や高い商品力を持った意欲ある生産者等による流通の新たな仕組みづくりへの支援により、県内農林水産業を牽引する売れる新商品等を創出します。また、経営アドバイスなどの6次産業化サポートや6次産業化ファンドの活用など異業種との連携を強化し、意欲ある生産者の6次産業化を支援します。
- ・県研究所では、産学官の研究コンソーシアムや「みえフードイノベーション・ネットワーク」等と連携した商品開発や技術移転などを加速させるとともに、課題ごとの研究計画を進捗状況に応じた的確な見直しや生産者・食品産業事業者等のニーズを踏まえた新たな研究課題の設定を行い、研究成果の商品化等を進めます。
- ・「伊勢まだい」や「もちもちまぐろ」等について、生産体制の強化を進めるとともに、「みえフードイノベーション・ネットワーク」等を活用して、企業等とのマッチングによる販路拡大を進めます。
- ・戦略的ブランド化推進事業では、これまで支援した事業者に対し、継続的に支援を行います。また、引き続き「みえセレクション」の選定に取り組むとともに、フードコミュニケーションプロジェクト集中研修を通じた事業者の商品力、営業力の向上等に向けた支援を行います。
- ・農業大学校におけるマーケティングスキル向上に向けた研修プログラムについては、研修内容や受講しやすい農閑期等に開講するなど適宜見直し、新たな受講者の増加につなげていきます。

【実践取組 3 「創造力の強化に向けた課題」を解決するために】

農林水産部

- ・地域活性化プランについては、市町・JA等と連携し、策定地域の拡大と継続的な実践支援に計画的に取り組めます。また、販路開拓等へ向けて、「みえフードイノベーション・ネットワーク」への参加や6次産業化を積極的に誘導するとともに、ビジネス展開に向けた意欲醸成を進めていきます。さらに、新たに開発された商品等の高付加価値化を目指して、食品や薬品関連事業者等異業種と連携した産地づくり等を支援します。
- ・地域水産業・漁村振興計画については、新たな10地区の計画策定と平成25年度までに策定を行った地区（23地区予定）の実践取組や計画のブラッシュアップを支援します。また水産庁が新たに提示する「浜の活力再生プラン」の策定につなげ、地区の特性に応じた水産業・漁村の活性化をさらに促進していきます。
- ・「いなかビジネス」の取組拡大と顧客の獲得及びリピート率向上に向け、専門家派遣やコーディネーター養成講座開催などによる人材育成や、継続的な情報発信などに取り組むとともに、平成25年度の施設調査結果（要因分析）や利用者アンケート調査結果を踏まえ、より効果的な情報発信やサービス改善に繋げていきます。また、集客力の向上に向け、体系的な選択専門研修（サービス開発、トレンドセミナー、おもてなし向上、SNS活用講座など）を開催し、取組団体の商品開発や情報発信などのスキル向上を支援します。

主な事業

【実践取組1 「発信力・営業力の強化に向けた課題」を解決するために】

雇用経済部

●戦略的営業活動展開推進事業

予算額：(25) 29,843千円 → (26) 20,310千円

事業概要：日本橋地域への集客を「三重テラス」への誘客につなげていくため、日本橋地域の企業、団体、商業施設、キーパーソンや周辺のイベント・まつり等とのネットワーク拡大と連携を深めるとともに、関係部局の連携や市町・商工団体等と連携した効果的なイベント等の企画演出により、「三重テラス」のイベント開催につなげていきます。

さらに、「三重テラス」に集う来場者をコアな三重県ファンにしていくため、「三重テラス」で多様な講座を開催するとともに、応援団や応援企業などのネットワークの拡大に加え、それら企業等へ定期的に三重の「旬」情報を発信する中で、三重県の認知度向上やブランド力アップにつなげていきます。

●関西圏営業基盤構築事業（一部）

予算額：(25) 4,031千円 → (26) 3,835千円

事業概要：関西圏の営業機能を強化するため、県人会を核としたネットワークづくりや、小売・流通業者との関係構築などに取り組みます。また、「食」や「観光」など三重の魅力を消費者等にわかりやすく伝えるため、集客施設やショッピングモール等でフェア等を開催するほか、地域のイベントへの参画、マスコミキャラバン等、さまざまな仕掛けを行います。さらには、関西圏の経済界との関係をより強固なものにするなど、効果的な情報発信、営業活動を展開します。

農林水産部

●三重県産品営業拡大支援事業

予算額：(25) 45,304千円 → (26) 4,345千円

事業概要：三重県産品の販路拡大と観光誘客を図るため、観光・国際局と連携して、全国の有名百貨店と協力して物産展を開催する「平成おかげ参りプロジェクト」を実施します。

●（新）農林水産物・食品輸出イノベーション事業

予算額：(25) ー千円 → (26) 11,607千円

事業概要：東アジア、アセアンを中心に県産品の輸出を促進するため、輸出支援組織を設置し、三重県物産展の実施や展示商談会への参加など海外への販路開拓を支援します。

●「もっと県産材を使おう」推進事業（一部）

予算額：(25) 8,653千円 → (26) 3,406千円

事業概要：「あかね材」の認知度向上と利用拡大を図るため、住宅や商業施設等に「あかね材」を利用してPRする取組を支援するとともに、県内や首都圏などでの販路開拓に取り組みます。

【実践取組2 「商品開発力の強化に向けた課題」を解決するために】

雇用経済部

●食発・地域イノベーション創出支援事業

予算額：(25) 3, 570千円 → (26) 2, 226千円

事業概要：「みえ“食発・地域イノベーション”創造拠点」に整備された試験・研究機器を活用し、食品・薬事関連企業への技術支援等を実施することで、食品・薬事関連分野における新たな商品開発などを支援します。

農林水産部

●みえフードイノベーション運営事業

予算額：(25) 32, 148千円 → (26) 195, 556千円

事業概要：農林水産資源を活用して、産官学連携による新たな商品等を革新的に生み出す「みえフードイノベーション」を推進するため、意欲ある事業者のネットワーク化、商品開発プロジェクトの創出、人材育成、商品力強化に総合的に取り組み、売れる新商品等の創出を支援します。

●産学官連携「みえのリーディング農産商品等」開発事業

予算額：(25) 31, 020千円 → (26) 32, 710千円

事業概要：産学官のさまざまな主体の知識や技術等を結集し、消費者のニーズに対応した農産商品等の開発を行うとともに、農業者等への開発技術等の移転・普及を図ります。

●産学官連携「みえのリーディング水産商品等」開発事業

予算額：(25) 16, 803千円 → (26) 7, 551千円

事業概要：マダイ、ノリ、アサリ、マグロ等の三重県を代表する水産物について、「みえフードイノベーションネットワーク」を活用して、産学官のさまざまな主体の知識や技術等を結集し、新たな商品開発、生産体制の強化、販路の拡大等を進めます。

●戦略的ブランド化推進事業

予算額：(25) 9, 994千円 → (26) 7, 476千円

事業概要：特に優れた県産品を三重ブランドとして認定するための審査を行うとともに、ブランド化に取り組みたい事業者に対し専門家を派遣し、その価値について再評価するとともに必要な助言指導を行い、新たなブランド確立に向けた支援を行います。

●フードコミュニケーションプロジェクト推進事業

予算額：(25) 7, 978千円 → (26) 13, 020千円

事業概要：特徴の優れた県産品を「みえセクション」として選定し、営業活動を通じた販路拡大を支援します。また、大都市圏等への販路拡大をめざす事業者向けに商品力及び営業力の改善を促すための研修会を実施します。

●三重のリーディング産品を支える人材育成事業

予算額：(25) 2, 361千円 → (26) 1, 671千円

事業概要：「もうかる農業」を実践できる農業者を育成するため、農業大学校において講座と演習を組み合わせた講座制の研修を実施し、農業者のマーケティングスキルの向上を図ります。

【実践取組3 「創造力の強化に向けた課題」を解決するために】

農林水産部

●地域活性化プラン推進事業

予算額：(25) 14,625千円 → (26) 10,323千円

事業概要：地域の農業者をはじめさまざまな関係者の創意工夫のもと、農地、景観、文化、人材など地域資源を有効活用する取組のスタートアップを促し、その実践を支援することで、地域の取組の発展や農産物の高付加価値化等の新たな価値創出につながる取組を進める集落や産地等の育成を行います。

●水産業・漁村振興計画推進事業

予算額：(25) 18,070千円 → (26) 2,276千円

事業概要：地域自らが取り組む「地域水産業・漁村振興計画」について、新たな10地区の計画策定と平成25年度までに策定した地区での計画の実践やブラッシュアップを支援します。

●すごいやんか三重のいなかビジネス展開事業

予算額：(25) 5,721千円 → (26) 5,905千円

事業概要：都市との交流等を通じて所得の向上を図る「いなかビジネス」の取組の拡大に向け、コーディネーター養成講座等による人材育成や、継続的な情報発信に取り組むほか、選択専門研修等の開催を通じ、取組団体の商品開発や情報発信などのスキル向上を支援します。